

開催日時	令和4年2月17日(金) 19時00分～21時00分
開催場所	Web
出席者	間瀬、沖山、山本、木澤、中川、小森、堤、前川、伊藤、檀辻、山口、成田、岩田、本田、小山、樋笠、有吉、清原、鮫島、岩井
欠席者	永嶋、正木
記録者	中川
議題1	会長報告
<p>会長行動録（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 県の補助金が出る事がほぼ決まった。・ 学会を委託して契約不履行になったCAには払うことはなくなった。次の業者のコンベンション・プラスに払う必要はないところにもいっている。これからも協力してほしいという話はしている。20数万円の中から少しは払うことになることもあるかもしれないが、全額払うことはない。・ 2月2日 協会 政策意見交換会出席 <p>現在の本会の制作活動及び今後の方針の共有、県や市での予算編成スケジュール。、西宮のコミュニティスクールの報告を協会に報告する。A4一枚程度の報告書をお願いしたい。</p>	
議題2	審議事項：2023年度予算についての提案。
<p>臨時財務審議会理事会提案内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ セミナーの開催について 必要不可欠なので、開催していただきたい。 →開催する方向へ。担当は生涯学習部。 5月末か6月初め300人規模で半日。中枢か整形疾患など研修会を同時開催。予算を計上すること。・ 登録理学療法士・認定専門理学療法士のための生涯学習ポイント取得の推進について ポイント取得ができるよう事業として取り扱いを検討していただきたい。 → 公益事業(スポ活のサッカーの協力員や支部のふれあいの祭典の協力員でも)でもポイント申請できるかどうかはカリキュラムコードを照らし合わせて考える。 出来るだけ多くのポイントが取れるようにする。各部とコンタクトを取って申請の可能性を考える。・ 感染対策委員会のアドバイザー契約について。見直しを検討していただきたい。 <p>今年度のアドバイザー実績報告</p> <p>研修会 2回(web) 研修会(対面)1回 会員からの相談件数 7件 県士会活動に関する相談 8件 感染予防対策ガイドライン作成アドバイス vol1.vol2(改訂版) →各事業に分けて予算を出すことに。委員会にさし戻して改めて予算案を見直していく。3月の理事会で決定するため、その前にwebで案を提出する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 兵庫県に申請している補助金が許可された場合の予算の確保について。 マルチモビディティ患者に台頭するためのリハビリ専門職の育成	

医療課管轄の介護体制の充実と健康づくり の中で出来た。補助金は 90 万。半分の補助なので 180 万円の事業になる。新しい組織を作ってそこが企画して運営することを考えている。90 万円を受講者負担にするか、県士会がもつのか、3 月くらいに会議を始めたい。
 士会の第一歩としてこれが成功すれば次はもっと大きくなるので、意味がある。
 最終的にはマルチモビディティ患者が良くなって今まで処方が出ていなかったような患者の処方が出て職域を増やすことが目的です。

・県学会の予算について

第 35 回については年度内にもう一度臨時財務審議会ですし道筋がつくような議論を行う。
 その上で来年度の財務審議会に引き継ぎたい。

・支部予算のばらつきについて。

40 万近くの違いがある。支部の事業として大きく違うのは公益事業、研修会、支部の活動になる。その点で差が出てきている。支部の会員規模で定量化しないとわからない。会員の利益に差がないかを検討していきたい。

・新入会を増やすために。

新人セミナー開催案内とアーカイブサイトの紹介を 2 月中に養成校卒業生に案内できる方法をご検討いただきたい。

→研修部の方で開催をまとめようとしていたが、2 月中とは考えていなかった。取り急ぎしていきたい。

新人研修会と合わせてすばいと思う

アーカイブはデジタル支援部で行う。

24 日までにとりまとめる。

理事 2 名で取りまとめる。

議題3

審議事項： デジタル業務支援部の新規企画について
 (デジタル業務支援部の新事業 (デジタル人材育成) について)

デジタル育成に着手していきたい。エクセルから行っていきたい(資料あり)。

事務作業自動化を目指すべく robotic process automation(RPA)に繋げていく。

まずデジタル支援部員が研修を受けに行く。その後、会員向けに講習会を行う。

→気になるのはエクセルの関数などでは理学療法の業務にどう生かすかのイメージが出来ない。エクセルの次世代と考えている。RPAの壁を上るためのステップなのかなと思う。発展的に行くための出発点ということで行う事。

議題4

審議事項： 研修部員の増員について

現在 10 名で活動をしているが、スタッフの単位認定が適用されなくなったため、研修会当日の単位認定が必要な場合は、当日のスタッフが充足されていない研修会がある。来年度より対面研修会も開催するために、当日対応含め 1 名の人員の確保が必要と考える。

→企画力を上げる、部員が運営しやすくなるということであれば良いと思う。

ポイントについては研修の本筋を聞くことができたということであれば運営の人でも柔軟に対応し申請できるようにする。アーカイブも活用する。

議題 5

審議事項： 資料調査部追加予算の計上について

現在 12510 円になっている。データベースと診療報酬改定アンケートにて追加会議をしたいと考えている。見込み金額 51490 円の追加計上の審議をお願いいたします。

→承認。

議題 6

協議事項： 県学会運営部部長選任について

部長が今年度末に他士会に移送されるため、後任の新学期を提示。

→承認。	
議題 7	審議事項： 大会長立候補届出用紙の改定について
<p>学会運営審議会</p> <p>現在の内規の別紙様式に下記項目を追加し、内規の改定を行いたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦人を2名上げること ・開催協力員を3名上げること ・学術経歴を記載すること。 <p>→予算まで考えるか考えないか審議をする上で考える必要がある。 あまりハードルは上げないように。 どのくらいの予算（参加数や会場など）を想定しているなどを説明する会をすることも検討。</p>	
議題 8	協議事項： 災害対策部研修会他府県士会会員参加者について
<p>他府県士会の参加であっても研修に参加できるようにしてほしいという希望している。 JRATは関係他職種参加と他府県士会参加については望ましいと考えております。 →災害対策は一士会の問題ではないので、近畿ブロックで災害対策委員会をしているので、近畿ブロックで相互に見てもらふ必要があると思う。一度、情報収集をして下さい。そのうえで、ここで他府県士会でお金をとるか、県士会員が少なかった入れるのか考えたい。</p>	
議題 10	その他：報告事項
<ul style="list-style-type: none"> ・協会の名誉会員に1名推薦します ・来年度の総会を7月9日に設定した。前々回した場所を押さえている。対面にするかwebにするか決まっていない。 ・事務文書規定の見直しをお願いしたい。 ・演題募集の延長の時に著作権の問題があるメールが流れた。 <p>疑義のあるものは早速外してください。 さっきの文書の方が会員ないか外部の人が分かりません。正式に抗議が来る可能性があります。十分注意してください。 すべて削除したらお詫びの文書をホームページに掲載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の中播磨支部と東播磨支部の支部長の交代がある。支部運営員で承認済み。 ・常勤役員・事務職員業務などの最終審議を3月に行いたい。 	
次回部会 日時・場所	日時； 令和5年3月15日(金)19時から 場所； web
今後の予定	